



2006 2007
Gifu North R.C.



岐阜北週報

WEEKLY REPORT

1176

例会 毎週水曜日 題字 小森 保敏
会場 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光桃林 2695
tel 295-5222(代)
事務所 岐阜商工会議所(岐阜市神田町2) tel 264-9235(代)

会長 小森 保敏
副会長 岡田 忍
幹事 永瀬 章
会報記念誌委員長 谷田 育子

<http://gifukita-rc.com>



平成 18 年 9 月 13 日発行

9 月 青少年育成 月間

本日のプログラム

第 1177 回例会 9 月 13 日(水)

早朝例会

担当 プログラム委員会

委員長 山口 八郎

第 1176 回例会 9 月 6 日(水)

慶祝行事

クラブフォーラム(3)

担当 青少年育成委員会

- 点 鐘
- 国 家「君が代」斉唱
- ローターソング「奉仕の理想」
- 四つのテストの唱和

ビジター紹介 親睦交流委員会

- ・青少年育成委員長・・・田端 稔充 様(熊野 R.C.)
- ・米山奨学生・・・高 鑫 坤 君
- ・交換留学生・・・ミッチー・ブパロ君

会長挨拶 小森 保敏 会長

一言ご挨拶申し上げます。本日は、青少年育成委員会の担当でクラブフォーラムです。担当委員長よろしくお願ひします。

ところで、本日は先月の 21 日に行なわれましたデイ・キャンプについて、若松学園より北ロータリー宛に礼状が届いておりますので、ご紹介申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。貴クラブにおかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は、若松学園の子供達のために、きめ細かい心遣いをして頂きまして、誠にありがとうございます。今回もまた、寄付金をはじめ様々な差し入れをして頂きまして、心より感謝申し上げますとともに、若松学園運営の為に活用させていただきます。

入所している児童それぞれが、様々な家庭の事情で親元を離れ生活しておりますが、どの子も大変元気に学習やスポーツに毎日励んでおります。そのような中で、入所している児童が不自由なく生活できるのも、皆様方のこうした温かいお力添えのたまものであると

職員一同重ねて感謝申し上げます。今後とも宜しくご理解、ご支援いただきますようお願い致します。

文末になりましたが、貴クラブの益々のご発展を祈念いたしまして、お礼に代えさせて頂きますという礼状をご紹介申し上げますと挨拶といたします。ありがとうございました。

出席報告 出席委員会

本日のホームクラブ	37 / 40	92.50%
-----------	---------	--------

本日のホームクラブ 欠席者 3 名
若山和正君・竹村博之君・水川渥君

慶祝行事 親睦委員会

🌸 会員誕生祝

2 日	岡川 紘君	2 日	里見雅直君
13 日	後藤 保君	18 日	竹村博之君
20 日	神谷良子君	24 日	森本時夫君

🌸 ご夫人誕生祝

1 日	片桐京子様	6 日	安藤 和子様
18 日	竹村淳子様		

🌸 結婚記念日

23 日	安藤紳一郎様	27 日	岡川 紘様
------	--------	------	-------

委員会報告

プログラム委員会 山口 八郎 委員長

9 月 13 日(水)に、午前 7 時より、長良川コントリークラブで、早朝例会を行いますので、ご出席をお願い致します。

なお、当日は軽い運動を行う予定ですので、軽装でお出かけ下さい。(朝食をご用意しています。)

親睦交流委員会 松野 秀計 委員長

9 月 23、24 日氷見ロータリークラブへ訪問される方は、岡田忍会員の会社の駐車場をお借りする事ができましたので、出席される 16 名の方は、そちらの方へご集合ください。

なお、バスの出発時間が、11 時となっておりますので、遅くとも 10 時 45 分までにご集合ください。

当日、ゴルフをやられる方は、バスの方にクラブを積み込んで下さい。

I G M開催の案内 神谷 会員

9月15日(金)夜6時30分より、当都ホテルで開催致しますので、係の方宜しく御願います。

幹事報告 永瀬 章 会員

ガバナー篠田靖之様より、8月27日の公式訪問のお礼状が届いておりますので、ご披露させていただきます。

ニコニコボックス 神谷 良子 会員

- * 青少年育成委員長 田端 稔充 様
- * 小森保敏君...本日、定例理事会です。役員理事の皆さん宜しく御願います。
- * 小島正三君...田端地区青少年委員長さん遠路はるばる御苦労さまです。感謝申し上げます。
- * 久世亘君...今日も元気で出席出来ました。
- * 部田拓君...松野君ありがとう。
- * 後藤保君...誕生日を迎えました。
- * 里見雅直君...私と紀子様のお子様の誕生日を祝っていただいて。
- * 国井省二君...秋篠宮紀子様、ご出産祝して。
- * 長野鉄司君...2630地区青少年育成委員長をお迎えして。
- * 安藤武司君...やっと秋らしくなりました。
- * 三島隆雄君...9月の誕生日の方おめでとうございます。

例会行事 クラブフォーラム(3)

ゲストスピーカー

国際ロータリー第2630地区

「青少年育成委員会」

委員長 田端 稔充 様(熊野RC)

今、ご紹介に預かりました、地区の青少年育成委員長をやらせていただいております田端と申します。去年も、夜間例会でここにお招き頂きました。本日は、4時間ほどかけて、三重県の南の端の熊野から参りました。熊野という地名は、初代の市長が画家で、日本に通る名前をつけようという事で命名されました。熊野は、もともとは和歌山県紀州藩の領地です。熊野古道と熊野花火ときれいな自然があるくらいです。私は、津と、松坂、熊野で建築のお仕事をさせていただいておりますが、非常に人口の少ない所であります。去年から当クラブの若いロータリアンが甲子園で野球がある事を見つけてきて、今年から野球に力を入れています。

青少年育成委員会ができたのが、4年前になります。当地区では伊達さんが、ガバナーの時に、長崎の犯罪、何才かの子をビルの上から駐車場へ突き落としたとい

う悲惨な事件がありました。事件を起こす子供たち何故なんだろうか?今、日本の将来の為に、ガバナー会として、今、何が大事なのか、教育問題にたずさわると非常に時間が長いかかると思います。教育、教育というと学校問題だけかなあと思う人が多いんですが、私も青少年育成にたずさわって、学校で勉強する事ももちろん大事だが、人生においては25%くらいかなあ後は、人間としての品格であったり、社会への順応性とかいろんな事が、重なり合って大人になっていくのだらうと思いますけども、ガバナー会の方では、知らず知らずに日本人が、日本人として、日本人の誇りをもってやるという社会教育がないぞという事です。ロータリークラブとしては、そういった事を支援していこうということです。学校教育は、学校にまかしたらいい。そこで、文科省と手を組んでやっていこうという事が、青少年委員会の発足の始まりです。

最近では、家に火をつけて親も焼き殺してしまったりとか、親をお金をはらって殺してしまったりとか、結果がどうなるのか、予測のつかない子供達が、すごく多いという事が、こないだマスコミにも取り上げられていました。社会に出て、結婚して自分の生んだ子を虐待する。昔では考えられない悲惨な事件が多すぎます。今の青少年の犯罪の中で80%くらいが男の子です。何故なんだろうと考えて見ますと一番の問題は家庭ということにいきつくのだらうと思います。家庭の中での父親の存在感が非常に大切であり、子どもに対しては、家庭内の規律を見せる事が大変重要であると思います。では、そういった子どもたちを、だれが作ったのか?父親、母親、おじいちゃん、おばあちゃん、家庭、地域社会、彼らも生まれた時は真っ白です。真っ白い中で生まれて来て、変な色に染めてしまった責任が大人にあるのではないか。青少年育成に力を入れてやっても、結果がでるのは、10年も、15年も、20年も先になるのだらうと思います。それくらい地道に時間と、お金と尽力をかけて、将来の日本の為にやらなければならない重要課題だと思えます。

本日は「若者の、人間力を高めよう!」という題をつけさせていただきましたが、これは、経団連の奥田会長が去年の5月頃、日本の経済の将来がないぞということで、国民会議を主催して発足したテーマです。日本の経済発展をし続ける為には、やはり企業は優秀な人材をほしがっている。その優秀な人間のおかげで、これからの日本の将来もある。今の若い人たちにまかせていいのだろうか?今の日本経済をもたせているのは、もう少し上の世代の人間としての品格、倫理をしっかりと持っている人がささえているのだらうと思います。今後、20年、30年先になった時に、彼らに日本を任せていいのかという問題がでてくるであろうと思います。日本人の将来のために、若者をなんとかしようということで活動しております。青少年育成委員会

この地区では、国民会議でもやっているスムーズに大人の社会に溶け込める手助けをしようということ、この地区でやろう。地区としては、職場体験とか、講師、小学校、中学校へ出向いて講師をしてやってくださいという事があるのですが、やはり、今の若者は競い合ってチームワークの中で、協力しあってやっていく事が欠如しています。地区としては、職場体験、講師をやってほしいのですが、皆さんのような、社会の達人が俺たちはこうやってきたからうまくいったとか、こうやるといいよという適切なアドバイスができると思うので、それを青少年に伝えていってください。

青少年育成委員会もできて4年です。新世代と呼ばれているクラブもあります。クラブとしては、サイドから物で支援するのではなく、岐阜北ロータリークラブのようにスポーツを通じて精神修行する、精神的な部分をサイドから支援する気構えでやられている事が大切かと思います。それ以外にも、やれる機会があれば職場体験とか、講師の機会があれば進んで学校にでていただき、日本の将来の為に子どもたちは、宝ですから、しっかりと青少年育成の為に尽力して頂きたいと思えます。

青少年育成委員会も、当初4人から8名になりました。カウンセラーを入れてですけど、この地区の中で充分かどうかわかりませんが、武田鉄矢のお母さんの「母に捧げるバラード」の一角じゃないですけども輝く日本の将来の星になって帰ってこいというような大見得をはって言えるような委員会になって頂きたい。2630地区だけでも、本当に日本の将来を見る、見せれる子どもたちを作る。お手伝いをクラブとして活動して行っていただきたい。経験した事を子どもたちにうまく伝えていただければこの地区の青少年育成活動が素晴らしいものになるかと思えますので、ご尽力、お力をお貸し下さい。長い時間ありがとうございました。



委員会・同好会活動

岐阜北ロータリーカップ 2006 バレーボール大会
平成18年9月3日(日)
於 岐阜市メモリアルセンター「ふれ愛ドーム」
担当 新世代委員会

➤ 閉会の辞 岡田 忍 副会長

➤ 点 鐘

次回例会のご案内 9月20日(水)

・クラブフォーラム(4)

担当 社会奉仕委員会

担当/クラブ会報委員会 安藤 紳一郎